

■ 公立病院として地域医療の基幹的な役割を果たす

当院は市内唯一の総合病院として、CTやMRIなどの高度医療機器を備え、がん、脳卒中、糖尿病、小児医療などの専門医療の分野において、民間医療機関で担うことのできない医療を提供している。

また、救急告示病院として、一次及び二次救急を担っており、公立病院として地域医療の基幹的な役割を果たしている。

■ 自己完結型から地域完結型に転換

これまでは、総合病院として自病院で完結する自己完結型医療を目指してきたが、今後は、それぞれの医療機関や福祉施設が、得意分野を生かして機能や役割を分担するとともに、地域的なネットワークにより、医療、介護サービスを提供できるような仕組みを目指し、地域完結型医療への転換を図る。

■ ネットワークで安全、安心の医療を目指す

自己完結型から地域完結型の医療への転換に伴い、今後の当院の位置づけを、一定水準の医療、看護レベルを持った亜急性期型の病院と考え、次の役割を強化していく。

1. 近隣の横須賀市立市民病院、横須賀共済病院、うわまち病院、ハートセンターなど急性期型の病院の後方病院（14日以内といわれる短期集中的な医療の後の受け皿病院）
2. 地域の開業医の後方支援病院
3. 在宅療養患者の急性増悪時の受け皿病院

在宅への中間点として急性期病院から紹介を受けるとともに、高度な手術等については急性期病院に紹介する。また、民間診療所から紹介を受けるとともに、一定の治療、リハビリが済んだ後にまた、民間診療所に逆紹介をする、といった連携を強化し、地域のネットワークにより、安全、安心の医療を提供していく。

■ 市民全員の生涯的・統一的健康管理

平成20年度からの取組みとして、市内の民間診療所の検体受注を受けての検査ラボやCT、MRIなどの高度医療機器の撮影受託を開始した。また、検査結果をデータ化し、民間診療所と簡便にデータのやり取りが出来るようにすることで、市民の健康管理データの一元化を図り、市民の生涯的・統一的健康管理を行う「三浦アンチエイジングシステム」(※アンチエイジングとは、日本語に訳すと「抗加齢」、つまり老化を防ぐことであり、究極の予防医療につながる。アンチエイジングファミリーとは、医学的な根拠に基づく各種情報からご自身と家族の健康を見直し、生活習慣等を改善すること)の構築を目指すものである。

これにより、民間診療所を含めた地域ネットワークを構築し、市民サービスの大幅な向上が実現できるものと考えられる。